

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：31年 3月 29日

事業所名：シュピーレン

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準を遵守し、活動に適したスペースを確保しています。	はい67% どちらともいえない25% いいえ0% わからない8% ・狭いと感じる子どもがいる。	
	2 職員の適切な配置	指定基準を遵守し、職員配置をしています。個別対応が必要な利用児には、指導員を増員しています。	はい75% どちらともいえない17% いいえ0% わからない8% ・スタッフによって対応が違う。 ・専門性はばらつきがあるかもしれない。	対応について話し合います。また、それぞれの職員の専門性を高めていきたいと思います。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	図や文字等を使って視覚支援をしています。また構造化を心がけて支援の必要な児童に配慮のある環境設定をしています。	はい84% どちらともいえない8% いいえ0% わからない8% ・子どもが分かるように何度も確認してくれる。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃・整理整頓・玩具の消毒や手洗いを励行しています。飲食前には、消毒スプレーでの手指消毒の徹底をしています。空気清浄機を使用しています。	はい84% どちらともいえない8% いいえ0% わからない8%	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	目標設定・振り返り等は、職員全体で共有できるように会議を開き積極的な参画を促しています。また、PDCAサイクルからOODAループの実行に向けて努力しています。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	特別支援教育研究者等からの助言に基づいて随時業務の改善ができるようにしています。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	各方面の講師等を招いて、法人内研修を実施しています。職員間の能力伸長・知識共有・意見交換の機会の確保をしています。		
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者からの聴き取りや発達検査の結果等によって詳細なアセスメントを実施し、放課後等デイサービス計画書を作成しています。	はい92% どちらともいえない8% いいえ0% わからない0%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
な支援の提供	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの子どもの状況に合わせて個別の支援を目指し、個別または集団活動を行っています。集団音楽療法を実施しています。	はい92% どちらともいえない8% いいえ0% わからない0%	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	療育・生活・音楽・制作・言語面等の基本的項目よりそれぞれの子どもに適する項目を選定し、具体的な支援内容を記載しています。	はい92% どちらともいえない8% いいえ0% わからない0%	
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に基づいた適切な支援を実施するように努めています。	はい92% どちらともいえない10% いいえ0% わからない8%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体の支援会議で意見交換をし、それに基づき活動プログラムを立案しています。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、長期休暇に応じた支援を実施しています。		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定したプログラムを実施し、利用当日の利用児の様子を鑑みて支援するようにしています。また、固定のプログラムを実施すると共にそれぞれの利用児に合わせた設定を工夫しています。	はい75% どちらともいえない8% いいえ0% わからない17% ・色々な内容のプログラムがある。 ・固定化して子どもをみるプログラムも必要と思う。 ・イベントや遠足が楽しみです。	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前もしくは、前日の支援終了後にそれぞれの役割・支援の内容を伝達し、確認をして次回の利用に役立てるようにしています。		
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後にその日行われた支援内容を振り返り、次回へとつなぎます。送迎時の保護者からの聞き取り内容等の共有を丁寧に行っています。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援内容を正確に記載しています。 ポイントとなる部分は、『エピソード記録』として記録し、その内容を支援会議で検証・改善に努めています。		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に指定基準に準拠したモニタリングを行い、計画書の見直しをしています。		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	該当する児童の在籍がありません。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する児童の在籍がありません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する児童の在籍がありません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の情報共有を心がけています。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報提供のため、必要に応じて連携を取っています。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と納品連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と研修を通じ、研修の受講の促進をしています。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在までそのような機会は無く、今後の予定もありません。	はい8% どちらともいえない8% いいえ42% わからない42% ・障がいのない子どもとの交流はほぼ無い。 ・「障害のない子ども」と言われる子どもの中にも様々な子どもがいるので、交流そのものに必要性は感じない。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在までそのような機会は無く、今後の予定もありません。		
保護者への説明責	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	丁寧な分かりやすい説明を心がけています。	はい84% どちらともいえない8% いいえ0% わからない8%	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を読み上げながら、支援内容を確認し、保護者の掌握状況の把握に努め、丁寧に説明しています。	はい92% どちらともいえない8% いいえ0% わからない0%	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	神戸市発達障害者支援センター等より講師を招いて保護者向けに研修会を実施しました。また、保護者会の開催時にもワンポイント支援に対する説明を実施しています。	はい58% どちらともいえない17% いいえ17% わからない8% ・必要に応じてアドバイスがある。	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	利用児の連絡ノートを通して、状況把握や情報交換に努めています。また、電話等、随時共通理解を図っています。	はい75% どちらともいえない17% いいえ0% わからない8% ・連絡ノートで状況を伝え合っているため事業所の様子がよく分かる。 ・アクションを起こせば対応してもらえる。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	利用児の状況に対して保護者からの相談に対して適切な対応をしています。また、話し合う機会を設けて保護者と職員の会話によって助言的な支援をしています。	はい67% どちらともいえない25% いいえ8% わからない0%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者向け研修会を実施しています。保護者主催の茶話会に事業所の場所を提供したり、職員も参加したりして連携支援をしています。	はい58% どちらともいえない25% いいえ0% わからない17% ・茶話会などお母さんたちとの関わりがある。 ・平日に都合が合う人は繋がれるがそうでない人もいるので考えて欲しい。	研修会や茶話会の実施日程について検討したいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対して、できるだけ迅速にかつ適切な対応をするように努力しています。	はい83% どちらともいえない0% いいえ0% わからない17% ・いつもすぐ対応してくれる。 ・苦情を言ったことが無いので分かりません。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障がいのある子どもそれぞれに対応した意思疎通や情報伝達のための配慮に努めています。	はい100%	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に1度おたよりを発行しています。	はい100% ・毎月のおたよりが楽しみです。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のファイル資料の扱いには留意し、鍵付き保管庫で管理しています。顔写真等の公開については同意書をとっています。	はい100%	
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。	はい33% どちらともいえない25% いいえ17% わからない25% ・どんなことを設定し、実行しているのかを保護者にも知らせてほしい。	職員や保護者への周知徹底に努めていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に2～3回（長期休暇中に）避難訓練を実施しています。	はい25% どちらともいえない25% いいえ8% わからない42%	職員や保護者への周知徹底に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	年に1回、職員研修として虐待防止並びに人権擁護研修を実施しています。新入職員に対してしても随時、研修を実施しています。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当する児童の在籍がありません。		該当児無
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始時やアセスメント時に保護者からアレルギーの有無・種類等を確認しています。おやつ の材料表記等を確認しています。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集の作成はしていませんが、ヒヤリハットが起きた時には、報告書を作成して共有しています。		ヒヤリハット事例の検討を行い、事例集の作成を計画します。
満足度	1 子供は通所を楽しみにしているか	子どもの子どもの楽しい活動を多く取り入れて支援介入しています。	はい92% どちらともいえない8% いいえ0% わからない0%	今後も子どもたちが楽しんで通所して頂けるように努力したいと思います。
	2 事業所の支援に満足しているか	心と身体の両面からの療育を念頭に置いて個別支援と集団支援を実施し、様々な工夫しています。	はい84% どちらともいえない16% いいえ0% わからない0%	